

宇佐神宮が御鎮座 1300 年を迎えました

宇佐神宮は全国に4万社以上あるといわれる八幡社の総本宮であり、年間150万人以上の参拝客が訪れます。宇佐の歴史や文化だけでなく、まちづくりや観光などのさまざまな分野における中心的な存在です。宇佐神宮の始まりは、奈良時代以前までさかのぼります。現在の場所に社殿を建て八幡神をまつたのが神亀2（725）年で、令和7年は八幡神の御鎮座から1300年の節目となります。

悠久の時を越えて受け継がれてきた宇佐神宮の歴史やその価値を市内外へ広く発信し、市の観光や地域の発展につなげるため、市は関係機関と連携し、観光プロジェクトを実施しています。また、さまざまな関連事業などの開催も予定されています。

今回は、宇佐神宮の歴史と合わせて御鎮座1300年記念行事についてご紹介します。

問合せ／観光・ブランド課

観光振興係（☎27-8171）



宇佐神宮の主な歴史

725年

小椋山に一之御殿を建て、八幡神が鎮座

733年

二之御殿を建て、比売大神が鎮座

738年

境内に弥勒寺を建立

749年

東大寺大仏開眼供養に合わせて八幡神が入京

769年

宇佐八幡宮神託事件（道鏡事件）

823年

三之御殿を建て、神功皇后が鎮座

1420年頃

応永年間の大造営

1942年

昭和の大造営による境内整備が完了

1952年

宇佐神宮本殿が国宝となる

2015年

国宝本殿の修理が完了
第257回臨時奉幣祭

2025年

御鎮座1300年
第258回臨時奉幣祭

ロゴマークの使用について



宇佐神宮
御鎮座
1300年

USAJINGUU 1300 YEARS

おもとさん

御許山から昇る朝日が宇佐神宮の上宮を照らすという1300年間変わらない風景をイメージしたロゴマークです。御鎮座1300年を広くPRし、大分県の認知度を高める目的であれば、どなたでも使用できます。使用する場合は、専用フォームから事前に申請が必要です。

問合せ／県北部振興局 地域創生部（☎32-1373）



県ホームページ



国宝 宇佐神宮本殿（一之御殿）

文化財の宝庫 宇佐神宮

八幡造という神社建築の代表例である「宇佐神宮本殿」と、鎌倉時代に造られ、石清水八幡宮（京都府）から宇佐神宮の弥勒寺へ寄進された「孔雀文磐」はどちらも国宝に指定されています。この他にも、西大門や呉橋のような歴史的な建造物、境内を描いた絵図、放生会をはじめとする伝統的なお祭り、原生林の姿を保つ鎮守の森（社叢）など、宇佐の歴史・文化・自然を象徴するさまざまな文化財が宇佐神宮には残されています。

1300年以上続く歴史の上に成り立つこれらの文化財は、人々が宇佐神宮を大切にしてきたことの証と言えます。

第258回臨時奉幣祭（勅祭）

祭礼に際して天皇のお使い（勅使）が遣わされる神社（勅祭社）は、全国に16社のみであり、宇佐神宮はその一つとなっています。8世紀初頭、南九州の隼人の反乱時に八幡神の託宣を受けるために遣わされたのが宇佐神宮への勅使の始まりといわれており、それ以来、天皇の即位や国家の一大事などの際に遣わされました。歴代の勅使として、道鏡事件で遣わされた和気清麻呂、紫式部の夫である藤原宣孝、平家の全盛期を築いた平清盛といった歴史上の人物も多く見受けられます。

現在では、10年に1度の勅使参向が恒例となっており、令和7年は御鎮座1300年と勅祭が重なる記念すべき年となっています。



平成27年に行われた勅祭の様子



勅使が渡る時だけ扉が開く呉橋

宇佐神宮御鎮座1300年 観光振興プロジェクト

1 機運醸成・情報発信強化

CM映像の放映、ポスター制作、市内の全小中学生へ記念クリアファイルの配布 など

2 メディア・webプロモーション

アニメ「こめかみっ！ガールズ」コラボ動画、賀来千香子氏・小野宮司・是永市長の記念鼎談 など

3 受入環境・コンテンツ強化

うさ七蔵記念限定酒、神楽体験、巫女体験、観光周遊タクシー など

4 観光誘客イベント・キャンペーン

キックオフイベント、宇佐グルメリレーキャンペーン、宇佐旅っちゃ など

宇佐神宮御鎮座1300年関連行事

■ 能楽鑑賞会

日時／4月1日(火) 13:00～

■ 西大門竣功奉祝祭 通り初め式

日時／5月2日(金) 10:45～

■ 国宝本殿特別拝観

日時／5月3日(土)～6日(火) 9:00～16:00

■ 第83期将棋名人戦 第4局

日程／5月17日(土)～18日(日)

■ 御神幸祭・流鏝馬神事

日程／7月31日(木)～8月2日(土)

■ 神仏習合八幡シンポジウム〔仮称〕

日程／9月下旬ごろ

■ 臨時奉幣祭（勅祭）

日程／10月上旬ごろ

■ 古代宇佐時代祭〔仮称〕

日程／10月ごろ

※場所や申込方法など、詳しくは市または宇佐神宮ホームページをご覧ください。

この他にも、年間を通して各種事業や行事を開催予定です。詳しくは、随時、市ホームページなどでお知らせします。



市観光サイト